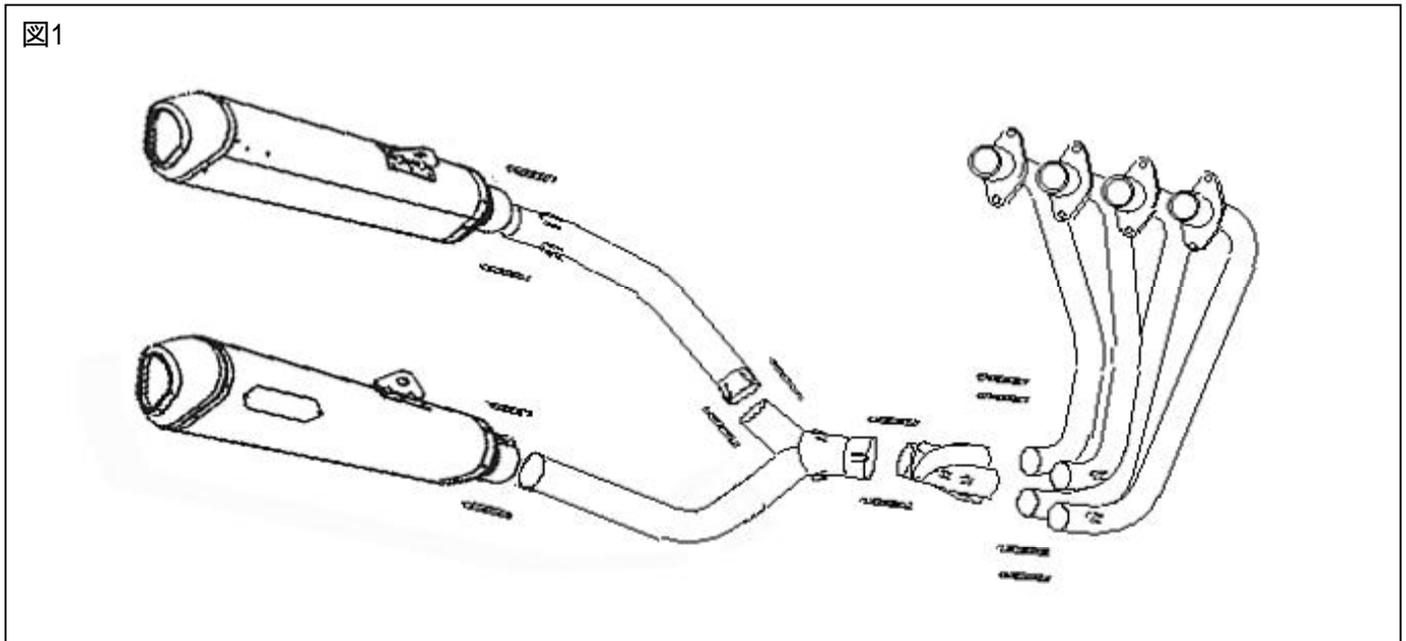


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。
このマフラーは、平成11年排ガス規制が適用されるZZR1400 06-07/08 マレーシア仕様(ZXT40A/C)用となっております。その他の機種(車両型式・年式)には取り付けられません(車検を受けられません)のでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
	エキゾーストパイプ #1	1
	エキゾーストパイプ #2	1
	エキゾーストパイプ #3	1
	エキゾーストパイプ #4	1
	スパイラルコレクター	1
	テールパイプ L	1
	テールパイプ R	1
	サイレンサー L	1
	サイレンサー R	1
	ワッシャー	2
-	スプリング	12
	センタースタンドストッパー	1
	スペーサー	2

純正マフラーの取り外し

まずミドルカウル・アンダーカウルを外し、ラジエターのステーを外します。次にエキパイのフランジ部ナット、テールパイプステーのボルト・ナット、サイレンサーのボルト・ナット等を外し、純正マフラーを取り外します。(マフラー・カウル等、純正パーツの脱着方法に関しましてはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従ってください。)
マフラー取り外しの際の純正ボルト・ナット類はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさない様ご注意下さい。

センタースタンドストッパーの取り付け

リターンスプリングを取り外した上で車体側のフックステーを取り外し、センタースタンドストッパーをフックステーではさむ形で共締めします。その後、元通りにスプリングを掛けてください。(右下図参照)

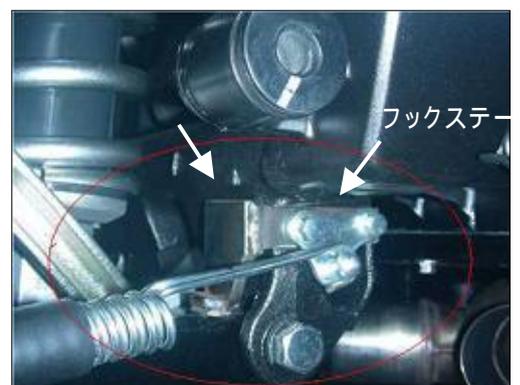
マフラーの取り付け

1)エキゾーストパイプの取り付け

パイプの位置関係に注意して(図1参照)、エンジンにエキゾーストパイプを取り付けます。ガスケットは新品をご使用下さい。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けしたパイプが軽く動く程度)にしておいて下さい。(~ の識別シールはマフラー装着後は剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。スパイラルコレクター部分も同様に行ってください。)

2)スパイラルコレクターの取り付け

スパイラルコレクターをエキゾーストパイプの番号に合わせて差し込み、スプリングを掛けます。差し込みにくい場合はプラスチックハンマーなどでエキゾーストパイプを前方方向からキズを付けない程度に軽く叩いて入れます。

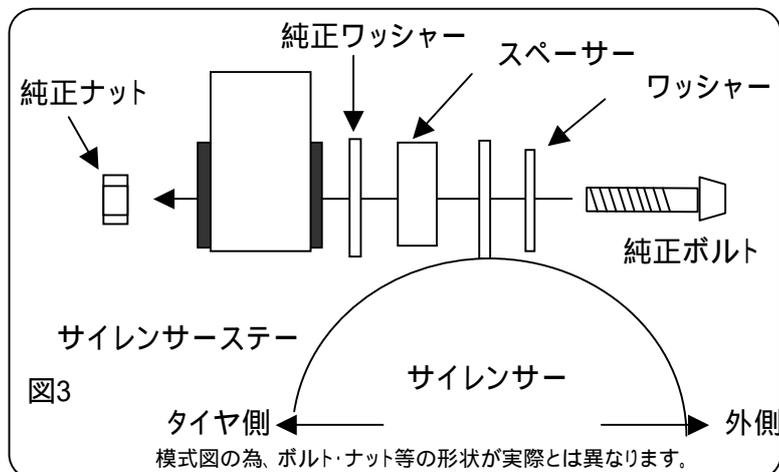


3) 中間パイプ・テールパイプの取り付け

スパイラルコレクターにテールパイプRを取り付けスプリングを掛け、次にテールパイプを取り付けスプリングを掛けます。

4) サイレンサーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを差し込み、スプリングを掛け、ワッシャー・スペーサー・純正ボルト/ワッシャー/ナットで仮止めして下さい。(図3参照)



5) 本締め

車体各部との干渉がない事を確認し、必要に応じて調整を行いながら仮止めたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾かないよう、ナットは均等に締め込んで下さい。締め込み具合により集合部やパイプの位置が動いてエンジンやカウルとのクリアランスが変化する場合がありますので、注意しながら作業を行って下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招く場合がありますのでご注意下さい。次にサイレンサーのボルト、ナットを本締めして下さい。最後に、で取り外したラジエーターステーを取り付け、カウル類を取り付けてください。(エキゾーストパイプと干渉の無い事を確認しながら作業を行ってください。)

各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を用いる事をお勧めします。

左右のサイレンサーのエンドの位置(高さ)を揃える等の目的でサイレンサーの位置を動かす場合、それに伴ってテールパイプや中間パイプの位置も動きますので、作業後、各部に干渉が無い事を再度ご確認ください。

最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。(サイレンサーのエンブレム部にビニールシートが張り付けてある場合は事前に剥がして下さい。)又、センタースタンドストッパーが正常に機能している事も併せて確認して下さい。注)エキパイに手の脂等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。十分脱脂を行って下さい。

セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(よりきめ細かくセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)

グラスウールは消耗品です。グラスウールが消耗した状態での走行はマフラー及び車両の故障に繋がる場合があります。音量の増加等、グラスウールの消耗の際はサイレンサーのオーバーホールをご用命ください。(有償)

走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。

シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

本製品はJMC Aの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。車検時に必要となる大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。

転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL:059-378-3505 FAX:059-370-7811

WEB: <http://www.nojima-japan.co.jp> MAIL: info@nojima-japan.co.jp